

取りまとめイメージ (提言案骨子)

取りまとめイメージ

屋台の現状認識と今後の考え方

屋台の課題(マイナス面)

トイレ

悪臭・不衛生

ルール不徹底

不適切な排水

負担の不公平感

ぼったくり

通行障害(再配置未了)

地域住民の屋台や行政への不信感

これまでの検証を踏まえた取り組み
(マイナス面の解消・不信感の払拭)

処分も含めたルール徹底

環境整備

屋台の負担

その他必要な取り組み

※時間や規格については検討の余地

屋台の効用(プラス面)

市民・観光客の評価

観光資源

経済効果

希少性

にぎわい創出

コミュニケーションの場

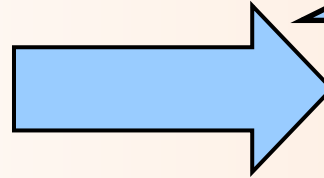
屋台の公益性

「原則一代限り」の見直し
屋台の積極的な活用

これまでの議論を踏まえた望ましい屋台の将来像(案)

屋台や行政への不信感の払拭

- まずは、ルール遵守や課題の解消に向け、営業者・行政が真摯に取り組み、不信感を払拭することが不可欠
- ・ 全屋台営業者によるルール遵守の宣言
- ・ ルールを守らない屋台に対する指導徹底
- ・ 条例制定によるルール明確化 等

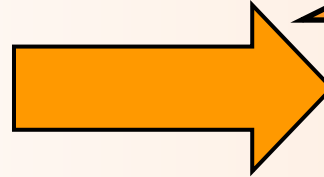


屋台の将来像①

住民や市民に理解される屋台

観光資源としての屋台の活用

- 「原則一代限り」の下、十分活用してこなかった屋台を、今後は観光資源として積極的に活用
- ・ イベント、PR等における積極的な活用
- ・ 屋台営業者の自覚を持った協力 等



屋台の将来像②

観光資源として福岡市をPRする屋台

「都市の装置」としての公共空間活用

- 公有地を都市のにぎわい創出やコミュニケーションの場とするなどの屋台の公益性を有効活用
- ・ 福岡市として条例制定等による公益性の位置づけ
- ・ 屋台にも公益に資する取組みを行う責務 等

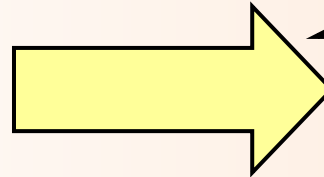


屋台の将来像③

「都市の装置」として福岡市の都市の魅力を高める屋台

福岡のまちと屋台の共生

- 課題を解消し、効用を活かしながら、屋台が福岡のまちと共生するための持続可能な制度の構築
- ・ 「原則一代限り」の見直し、新規参入
- ・ 一定の地区指定、環境整備
- ・ 新たな営業者の募集要件の明確化
- ・ 縦割りを排除し総合的に取り組む体制の整備 等



屋台の将来像④

福岡のまちと共生する持続可能な屋台